社会教育課社会教育係

池上 直樹 主任学芸員

はありません。

しています。

思います。

NTERVIEW

本物の博物館は、調査研究や収

集活動によって蓄積された資料や

情報を大切に保管しながら、展示

や学習支援活動を行っています。

つまり、モノを並べて見せるだけで

御船町は、白亜紀後期の日本の

恐竜に関する情報を発信し続ける

ことができる数少ない場所です。

恐竜博物館は「御船の大地と恐

竜」にテーマを絞り込んで、御船町

でしかできない独自の活動を展開

新しい恐竜博物館は、「町民と

ともに成長する博物館」という理

念のもとに 「活動し発信する博物

館」を目指していますが、施設をつ

くって終わりではなく、本当の博物

館づくりは開館後に始まるのだと

●恐竜博物館基本構想・基本計画

新恐竜博物館建設に向けて、目的

理念・活動の基本方針などをまとめ

た計画。今後の博物館整備と活動の

バイブル。全59分。平成23年3月

世界初の情報を発信する

物館を目指

()

ま

す

都市再生整備計画事業 「新恐竜博物館」

夢を育み成長する博物館建設

社会教育課社会教育係

282-

0888

を進めています 御船地区都市再生整備計画事業」 国からの交付金を活用した

に交流や観光の拠点を整備して、

を展開するものです

この事業はシンボルロー

線の沿道

平成26年度までに順次整備する計画 主に▼ふれあい広場▼新恐竜博物館▼ 街なかギャラリ なかでも地域活性化の目玉と 育てふれあい館▼観光交流センタ ▼町道改良:

べる」「伝える」 船幼稚園跡地周辺に建設を予定してい 待される 敷地面積は約33 「新恐竜博物館」 「教える」 める」 機能を る 御

恐竜博物館

研究4収蔵5管 **6** 町

ます。

進めながら、 しながら、 成23年 建築 町民の意見を 施設 展示の設 成26年春の開館に や展示の設計 意見交換会を 盛 りこんで 0 向 方

向性に、

きます

今後、

声

恐竜博物館に馴染みのある人に新恐竜博物館へ の期待を聞いてみました。



かわち かずいち 河地 和一 さん (木倉)

年度から始まり、

意見交換会を3回

ました。

その結果が

不をまと

恐竜

博物館基本構想

博物館の機能や活動につい

新恐竜博物館の整備検討は平成22

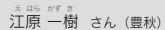
る博物館なのです

恐竜や自然の魅力を再発見

夢

生きがいを育みながら成長しつづけ

新恐竜博物館は町のシンボルとなる建物です。 外観や館内には訪れた人の心をつかむアイデア と、雑誌やテレビで取り上げられるような仕掛 けが必要です。開館に向けて、企画提案や恐竜 ガイドなどを町と町民が協力する関係も求めら れます。御船は今、まちづくりの良い風が吹い ています。博物館を起爆剤に一役かえればうれ しいですね。



博物館が開館した頃から来ていました。教室に 参加して、興味を持ち、現在の進路を選択する きっかけになりました。博物館は館内が充実し ている一方で、展示規模や場所の分かりづらさ が問題でした。新博物館は国道付近で来館者に も親切です。多くの人が来館して、体験して、 知ってもらうことで、将来の道が広がり成長し ていくと思います。

計画

平成22年度	基本構想·基本計画策定
平成23年度	建築·展示設計、意見交換会
平成24年度	建築工事
平成25年度	展示工事
平成26年度	開館

し合い、事業に意見を反映させる会議です。

詳しくはホームページ 御船町 恐竜博物館 検索

長する

を目指します。

つま

ではなく、

の参加型を基本に

「町民とともに成

6つのエリアを設けて、

来館者

新恐竜博物館の建設計画の進行予定を年度ごと に紹介します。

平成22年度	基本構想·基本計画策定
平成23年度	建築·展示設計、意見交換会
平成24年度	建築工事
平成25年度	展示工事
平成26年度	開館

※意見交換会は、町民が事業の計画段階から参加して、グループごとに意見を出

新恐竜博物館の建築が検討されている旧御船幼稚園跡地周辺



平成22~25年度

町民交流エリア

事務室

会議室 など

旧御船幼稚園跡地周辺 ■内容 恐竜博物館新館整備 ■費用 3億3,330万円

機能 Function

①エントランスエリア

3調査・研究エリア

エントランスエリア

収蔵エリア

標本管理室

収蔵庫

書庫

▽エントランス ▽ミュージアムショップ

6管理エリア

2展示エリア

4収蔵エリア

6町民交流エリア

展示エリア 常設展示室

調査・研究エリア 7研究室 生物化学実験室



平成10年4月に開館した御船町恐竜博 物館。日本初の肉食恐竜化石「ミフネ リュウ」をはじめ、翼竜、ハドロサウル ス類の頭骨など世界的にも貴重な化石 を多数展示。子どもを中心に年間3万 人以上が訪れる御船随一の観光拠点。

策定。